

刈谷オフレールステーションの開業について

平成17年9月14日

昭和61年11月に列車輸送を廃止し、名古屋貨物ターミナル駅との間をトラックによる輸送を行う営業拠点として、「刈谷コンテナセンター」をJR刈谷駅の隣接地に開業しましたが、刈谷市の駅前広場拡張事業にあわせて、より交通アクセスのよい場所に移転し「刈谷オフレールステーション(ORS)」に改称のうえ開業しました。

1. 開業日 平成17年9月7日

2. 場 所 愛知県刈谷市小垣江町東高根7番1

3. 施設の概要

- | | |
|----------|--------|
| (1)総面積 | 7,400㎡ |
| (2)貨物上屋 | 1,200㎡ |
| (3)総合事務所 | 310㎡ |

4. 年間取扱量 約25万トン

オフレールステーション(ORS)とは、レールから離れた貨物駅として設置し、拠点駅との間をトラックにより輸送する施設です。

刈谷オフレールステーションは、平成12年10月に全国で初めて埼玉県羽生市に開業した、「羽生オフレールステーション」(総面積:1,650㎡)に次いで2番目のものです。